

日野町早期療育事業所「くれよん」 支援プログラム

作成日:令和 7(2025)年 1月 10日

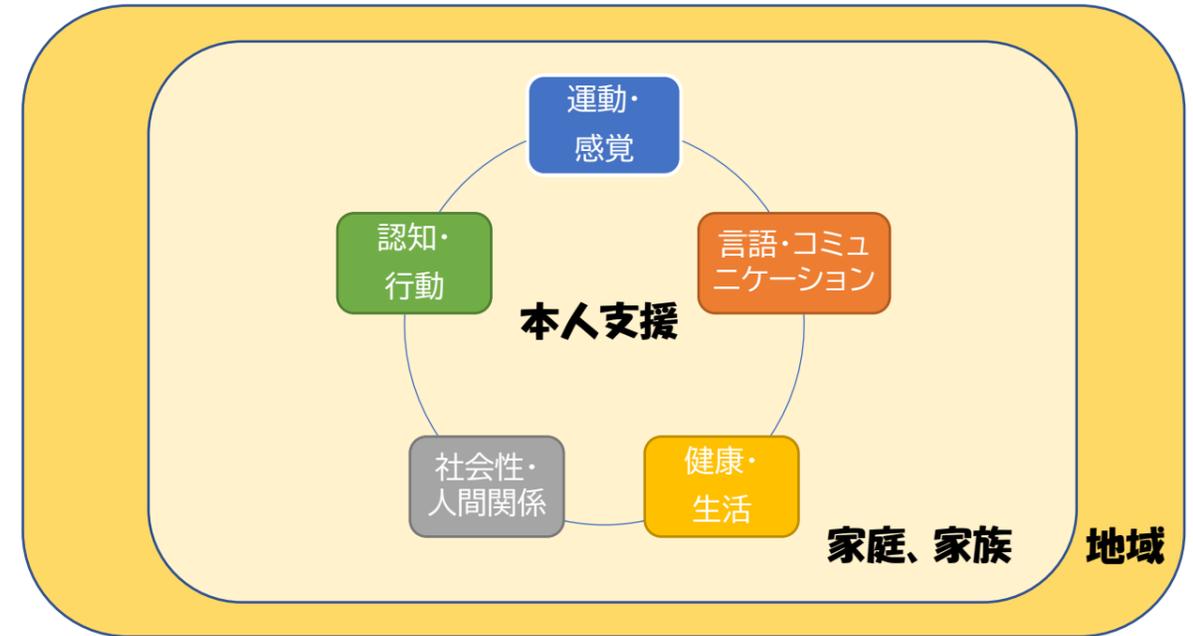
子どもの発達を支える視点

はじめに

大事にしていること	<p>“「くれよん」にはいろいろな色があるように、子どもたちもいろいろな個性を持っている。いろいろ経験し、個性を伸ばしていった、いずれ自分の色(自信など)を見つけてくれたらいいなと思って……”。</p> <p>『くれよん』という名前は、療育を利用されていた保護者の方が提案してくださいました。この名前に込められた思いを大事にしながら、子どもがまわりの世界に目を向けて、自らかかわってこうとする姿を大切に、保護者や友だちとかかわりをもって遊ぶ楽しさに気づいていけるように… 子どもの歩みを、保護者がしっかりと受け止めてかかわっていけるように… 子どもと保護者、スタッフがともに学びあっています。</p>
営業時間	8:30~17:15
送迎の有無	なし

「くれよん」のプログラム(お子さんへのかかわり)

荷物整理	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに応じた方法(例:写真や絵カード、カゴや椅子の使用)で、所持品の整理を行います。 <p><関連領域:①運動・感覚、⑤健康・生活></p>
サーキット遊び	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな遊具で遊ぶことで、モノに応じた体の使い方を体験していきます。 保護者や保育者とともに遊ぶ中で、「もう1回」など、要求を伝える機会を作ります。 友だちを見て、やってみようとする気持ちを育みます。 友だちと場を共有する中で、順番や交代を経験していきます。 <p><①運動・感覚、②認知・行動、③言語・コミュニケーション、④人間関係・社会性></p>
机上課題	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな教材を用い、“要求する”“聞く”“模倣する”など、やりとりする時間を設定します。 ことばだけでなく、ジャスチャーやカード等、子どもに合った方法を一緒に考えます。 さまざまな教材を用い、“見る”、“手指を使う”など、身辺自立や道具の操作につながる力を育みます。 <p><①運動・感覚、②認知・行動、③言語・コミュニケーション、④人間関係・社会性></p>
あつまり	<ul style="list-style-type: none"> 不要な刺激を減らす、適した机と椅子を使うなど、環境を整え、活動に向かいやすくします。 順序立てて指示をする、視覚情報を提示する中で、子どもの“わかる”を育みます。 “見る”“聞く”“する”のメリハリをつけ、活動していきます。 集団の場で、自分の思いを伝える機会や、友だちの思いを聞く機会を作ります。 <p><①運動・感覚、②認知・行動、③言語・コミュニケーション、④人間関係・社会性></p>
ふれあい遊び	<ul style="list-style-type: none"> 大人と触れ合うことで、楽しさや心地よさを味わい、社会性や運動発達を促します。 <p><①運動・感覚、②認知・行動、③言語・コミュニケーション、④人間関係・社会性></p>
感触遊び、制作、ゲーム遊びなど	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊び(例:新聞遊び、粘土遊び、ホットケーキ作り等)を取り入れます。 集団での活動や、友だちとの関わりを通して、順番や交代、協力すること、相手へのことばがけ、相手の気持ち等を実践的に学べる機会を作ります。 <p><①運動・感覚、②認知・行動、③言語・コミュニケーション、④人間関係・社会性></p>
排泄手洗い	<ul style="list-style-type: none"> 大人と一緒に取り組み、着脱への参加や自立を促していきます。 視覚情報の提示(例:見本、イラスト)やことばがけにより、方法を知らせていきます。 <p><⑤健康・生活></p>
おやつ	<ul style="list-style-type: none"> “要求する”、“挨拶をする”など、大人とやりとりする機会を作ります。 <p><③言語・コミュニケーション、⑤健康・生活></p>
自由遊び	<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びや玩具をみつけて行く機会につなげていきます。 友だちと場や玩具を共有することで、「ちょうだい」「いれて」「どうぞ」など、やりとりする機会を作ります。 <p><①運動・感覚、②認知・行動、③言語・コミュニケーション、④人間関係・社会性></p>



行事	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動の開拓を行い、日々の生活の充実をはかります(例:町立図書館や近隣公園へのお出かけ、買い物体験、福祉バスや公共交通機関(バス・電車)を使う活動、プール療育)。 そのほか、誕生日会、避難訓練などを実施します。
----	---

「くれよん」のプログラム(ご家族や地域とのかかわり)

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 療育時のやりとりや連絡帳を通じ、保護者とのコミュニケーションを図ります。 親子療育を通して、お子さんの姿を共有し、かかわり方をともに考え、実践していきます。 保護者グループの中での学習会などを通じ、子育てや就園、就学についてともに考えていきます。 発達相談や個別面談を行います。
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就園時には、就園先に対し療育見学会や引継ぎを行います。 就園先への園訪問や療育見学会を実施します。また、支援計画の共有による連携をはかります。 就学時には、就学相談会への同行、就学先を対象とした療育見学会、引継ぎを実施します。 就学時には、就学後に利用される地域の放課後等デイサービス、学童を対象とした療育見学会を実施します。
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関との連携として、必要に応じ、ケース紹介や受診同行を行います。 町内園を対象とした発達支援に関するおたよりの発行、研修会を開催します。 地域支援の体制の構築のための会議(町地域支援生活ネットワーク会議)へ出席します。 必要に応じ、個別のケース検討のための会議へ出席します。

職員の質の向上

<ul style="list-style-type: none"> 各種研修への参加や勉強会を実施します(例:支援に関すること、虐待防止(身体拘束)に関すること、感染症に関すること)。
--